

# 2024年5月期 決算説明会



<https://www.nakakita-s.co.jp/>

2024年8月2日（金） 大阪

- I. 会社概要
- II. 2024年5月期 実績
- III. 2025年5月期 見通し
- IV. 今後の展望
- V. コーポレートデータ

# I. 会社概要



# 1. 会社概要

Moving forward

会社名	株式会社中北製作所
代表者	代表取締役社長 宮田彰久
創業	1930年5月28日
資本金	1,150百万円
株式公開	東京証券取引所スタンダード市場
事業所	大阪本社・工場（最寄駅：JR住道駅）、 東京営業所、北九州営業所
事業内容	バルブ及びバルブ遠隔操作装置の製造販売
売上高	18,608百万円（2024年5月期）



大阪本社・工場



代表取締役社長 宮田彰久

## 2. 事業内容

Moving forward

- 1930年の創業以来、船舶・発電・製鉄・化学プラント等向けバルブを中心とした**流体制御システム**を提供

2024年5月期 売上高 18,608百万円

船 用  
63.4%



陸 用  
36.6%



遠隔操作装置  
25.9%



バタフライ弁  
31.5%



自動調節弁  
42.6%



### 3. 製品ラインアップの例

Moving forward

#### カーゴ/バラスト 弁遠隔操作システム

##### 油空圧機器

##### 油圧発生装置



油圧ポンプユニット    ハンドポンプ    エアーアクティング  
ピストンポンプユニット

##### 油圧方向切替弁



電磁弁盤    コントロールユニット  
(手動遠隔操作)



電磁弁箱

##### 電気機器

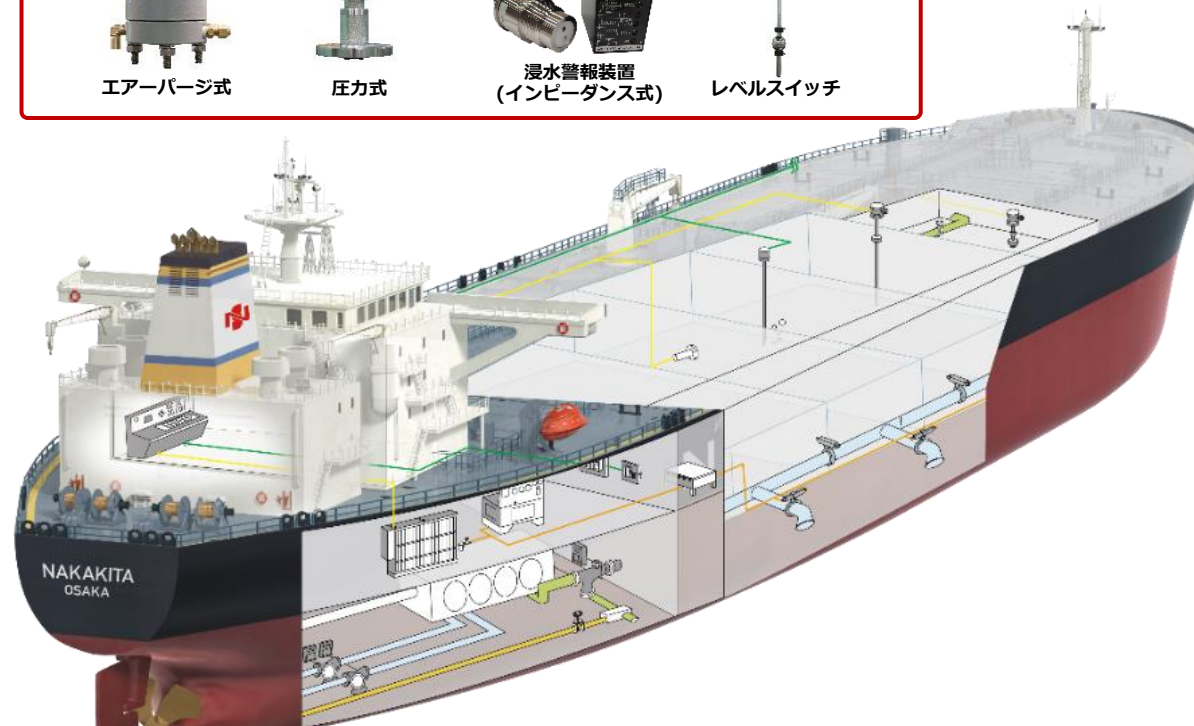


コンベンショナル式    コンピュータ式

#### 液位計測システム



エアードライブ式    圧力式    浸水警報装置  
(インピーダンス式)    レベルスイッチ

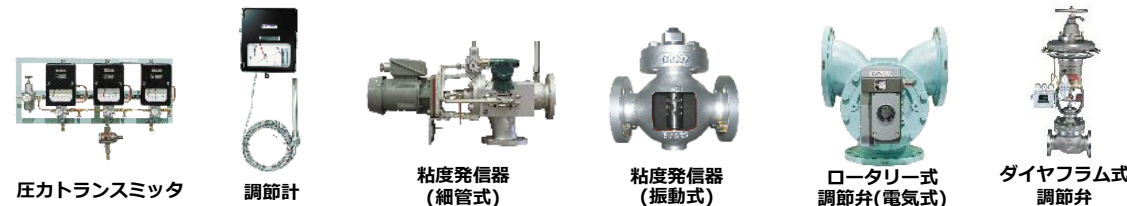


#### バタフライ弁



手動式    電動式  
油圧式    空気式

#### 自動制御機器(機関室・ポンプルーム)



圧カトランスミッタ    調節計    粘度発信器  
(細管式)    粘度発信器  
(振動式)    ロータリー式  
調節弁(電気式)    ダイアフラム式  
調節弁

## 4. 品質保証

Moving forward

- 顧客満足度を得るため、品質管理の仕組みや体制作りを行い、顧客に安心と信頼を提供する
- 顧客ニーズ・期待・要求に製品が適合しているか各部門のプロセス・システムを管理し、品質を保証している

**S**afety 安全な環境      **C**ost 適切な**価格**  
**Q**uality 欠陥のない**品質**      **D**elivery **納期**通りの供給

### 認 証

認証機関（LRQA）による**ISO9001**認証  
認証機関（LRQA）による**CE/UKCAマーキング**認証  
高圧ガス大臣認定試験者の認定  
韓国ガス安全公社（KGS）より安全弁の製造の登録証明書取得  
韓国KOSHAによる安全弁の**KCsマーク**認証  
米国機械学会（ASME）による安全弁**V、UVスタンプ**認証



## 5. サービス網

Moving forward

- 製品を熟知したサービススタッフや代理店で国内外の中北ネットワークを構築
- 納入実績のデータベース化で長く安心して製品をご使用いただける体制を確立

### ● 国内拠点

大阪本社・工場、東京営業所、北九州営業所



### ● アフターサービス拠点

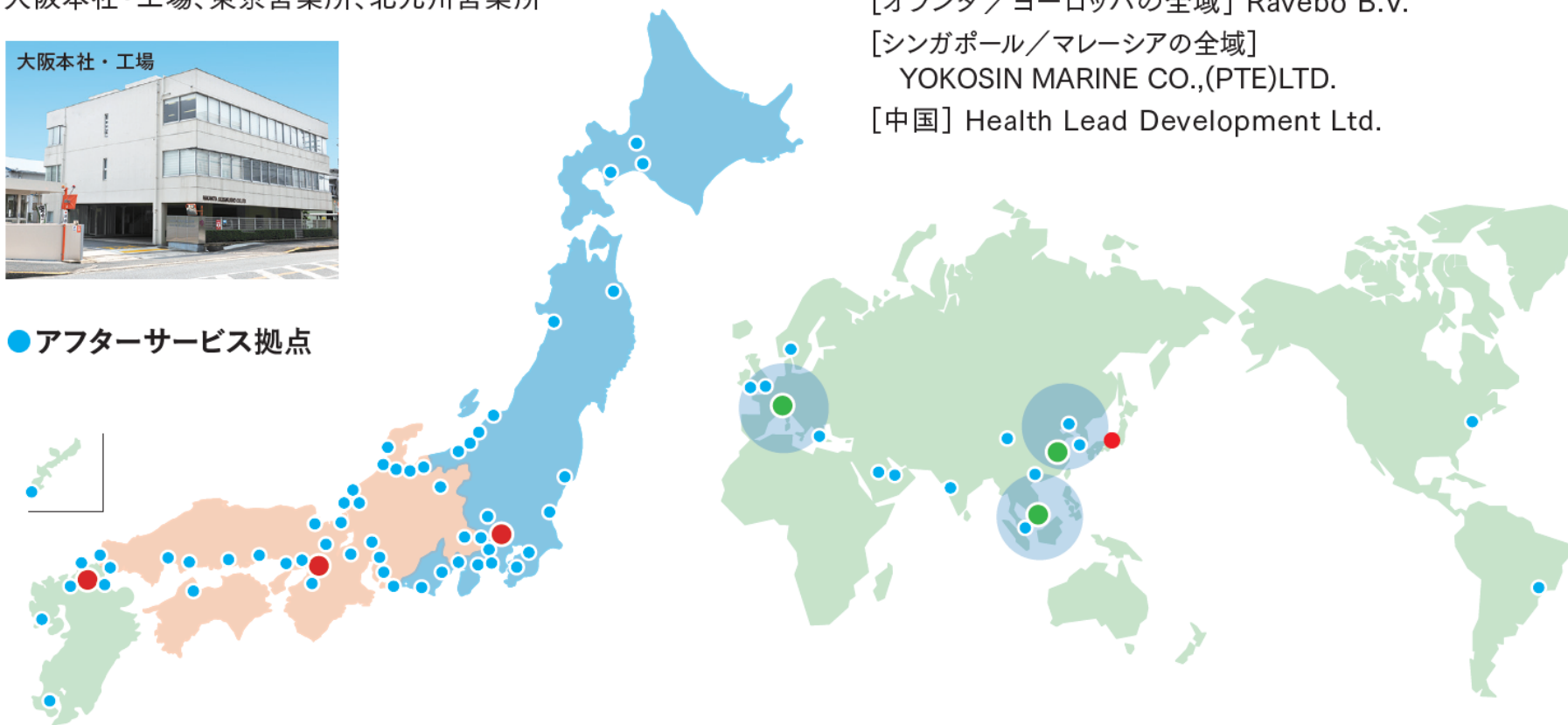


### ● 海外代理店

[オランダ／ヨーロッパの全域] Ravebo B.V.

[シンガポール／マレーシアの全域]  
YOKOSIN MARINE CO.,(PTE)LTD.

[中国] Health Lead Development Ltd.





## Ⅱ. 2024年5月期 実績



# 1. 概要

Moving forward

- 新造船需要の改善、修理・メンテナンス関連部品売上に注力した結果、売上及び利益面についても期初計画を上回った

単位：百万円、%、円

	23/5	24/5	前年同期比		24/5 期初計画	期初計画比	
			増減	同率		増減	同率
売上高	15,777	18,608	2,831	17.9	17,500	1,108	6.3
営業利益	816	1,203	386	47.3	900	303	33.7
経常利益	1,109	1,473	363	32.8	1,110	363	32.8
当期純利益	806	1,020	214	26.6	770	250	32.5
1株当たり当期純利益	225.81	288.54			215.62		
1株当たり配当金	70.00	80.00			70.00		
総資産	29,040	31,739					
純資産	23,296	24,787					

## 2. 生産・受注・受注残の推移

Moving forward

単位：百万円、%

生産高	23/5	24/5	前年同期比	
			増減	同率
			自動調節弁	6,691
バタフライ弁	4,903	5,801	898	18.3
遠隔操作装置	4,045	4,751	706	17.5
生産高合計	15,640	18,536	2,896	18.5

受注高	23/5	24/5	前年同期比	
			増減	同率
			自動調節弁	7,986
バタフライ弁	6,034	8,985	2,950	48.9
遠隔操作装置	4,760	5,475	714	15.0
受注高合計	18,781	22,637	3,855	20.5

受注残	23/5	24/5	前年同期比	
			増減	同率
			自動調節弁	5,157
バタフライ弁	3,990	7,102	3,111	78.0
遠隔操作装置	2,956	3,617	660	22.3
受注残合計	12,105	16,133	4,028	33.3

### ■ 生産高（前年同期比18.5%の増）

生産高は、自動調節弁が前年同期比19.3%、バタフライ弁は同18.3%、遠隔操作装置も同17.5%の増加となり、全体では同18.5%の増加となった。

### ■ 受注高（同20.5%の増）

新造船需要の改善のなか、自動調節弁は前年同期比2.4%、バタフライ弁は同48.9%、遠隔操作装置も同15.0%の増加となり、全体では同20.5%の増加となった。

### ■ 受注残（同33.3%の増）

受注残高は前年同期比33.3%の増加となった。

### 3. 部門別売上高

Moving forward

- 売上高は、自動調節弁が前年同期比17.9%、バタフライ弁は同18.1%、遠隔操作装置も同17.9%の増加となり、全体では同17.9%増加となった
- 前年同期に比べ、陸用は1,091百万円増加（前年同期比19.1%増）、船用は1,739百万円増加（同17.3%増）となり、全体では2,831百万円増加（同17.9%増）となった

単位：百万円、%

	23/5	24/5	24/5		
			増減	同率	構成比
自動調節弁	6,719	7,920	1,201	17.9	42.6
バタフライ弁	4,973	5,873	899	18.1	31.5
遠隔操作装置	4,084	4,814	730	17.9	25.9
合計	15,777	18,608	2,831	17.9	100.0

単位：百万円、%

	23/5		24/5			
		構成比	増減	同率	構成比	
陸用	5,713	36.2	1,091	19.1	36.6	
船用	10,064	63.8	1,739	17.3	63.4	
合計	15,777	100.0	2,831	17.9	100.0	

## 4. 地域別売上高

Moving forward

- 国内向けは、前年同期比16.7%、中国向けは、同54.8%、その他は、同6.1%の増加となった
- 韓国向けは、前年同期比28.4%、台湾向けは同28.2%の減少となった
- 輸出比率は14.2%で0.9ポイントの増加

単位：百万円、%

	23/5	24/5	増減		
			増減	同率	構成比
国内	13,672	15,960	2,288	16.7	85.8
韓国	204	146	▲ 57	▲ 28.4	0.8
中国	1,253	1,940	686	54.8	10.4
台湾	362	259	▲ 102	▲ 28.2	1.4
その他	284	302	17	6.1	1.6
合計	15,777	18,608	2,831	17.9	100.0
輸出比率	13.3	14.2	0.9		

## 5. 損益計算書

Moving forward

- 売上高は、新造船需要の改善を受けて前年同期比17.9%の増加
- 利益面に関しては、修理・メンテナンス関連が前期に続き好調に推移したため、営業利益は前年同期比47.3%、経常利益は同32.8%、当期純利益は同26.6%の増加となった

単位：百万円、%

	23/5		24/5			
		構成比		増減	同率	構成比
売上高	15,777	100.0	18,608	2,831	17.9	100.0
売上原価	12,834	81.4	15,202	2,367	18.4	81.7
売上総利益	2,942	18.7	3,406	464	15.8	18.3
販管費・一般管理費	2,125	13.5	2,203	78	3.7	11.8
営業利益	816	5.2	1,203	386	47.3	6.5
営業外利益	293	1.9	270	▲ 22	▲ 7.7	1.5
経常利益	1,109	7.0	1,473	363	32.8	7.9
特別損益	14	0.1	4	▲ 10	▲ 69.6	0.0
税引前当期純利益	1,124	7.1	1,477	353	31.4	7.9
法人税等	317	2.0	457	139	43.8	2.5
当期純利益	806	5.1	1,020	214	26.6	5.5

## 6. 貸借対照表

Moving forward

単位：百万円

	23/5	24/5	増減	主要増減要因
流動資産合計	17,555	18,346	791	
現金・預金	5,627	4,824	▲ 803	
売上債権	6,344	7,255	911	下期売上増加
棚卸資産	3,585	3,833	247	
その他	1,997	2,433	435	短期運用 399
固定資産合計	11,484	13,392	1,907	
有形固定資産	6,925	7,105	179	減価償却 197 投資 457
無形固定資産	43	123	80	
投資その他の資産	4,515	6,163	1,647	長期運用 1,307 長期貸付金 311
資産合計	29,040	31,739	2,699	
流動負債合計	4,398	5,407	1,008	
仕入債務	2,546	3,062	515	下期売上増加による仕入増加
その他	1,851	2,345	493	未払法人税等 254 未払金 101
固定負債合計	1,345	1,544	198	長期借入金 ▲142 (返済) 繰延税金負債 253 資産除去債務 81
負債合計	5,744	6,951	1,207	
純資産合計	23,296	24,787	1,491	
負債・純資産合計	29,040	31,739	2,699	

# Ⅲ. 2025年5月期見通し





# 1. 概要

Moving forward

- 売上高は21,000百万円（前年同期比12.8%増）の目標
- 利益については、営業利益及び経常利益は若干の増益、当期純利益については投資有価証券売却益（特別利益）968百万円を織り込んでいるため大幅な増益を見込んでいる

単位：百万円、%、円

見込み	24/5	25/5	前年同期比	
			増減	同率
売上高	18,608	21,000	2,391	12.8
営業利益	1,203	1,300	96	8.1
経常利益	1,473	1,600	126	8.6
当期純利益	1,020	1,780	759	74.4
1株当たり当期純利益	288.54	504.11		
1株当たり配当金	80.00	100.00		

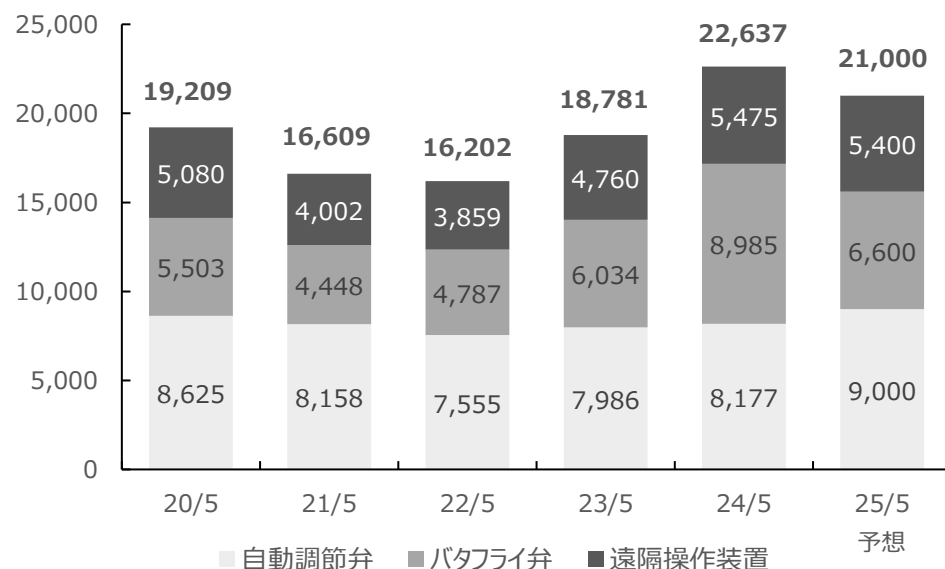
## 2. 受注・受注残の見通し

Moving forward

- 新造船需要が改善しており、船用関連に加え、発電プラント等陸用関連においても、国内外積極的な営業活動を行い、顧客ニーズの掘り起こしに努める提案型営業活動を展開し、受注獲得に努めることで、受注高21,000百万円を目指す

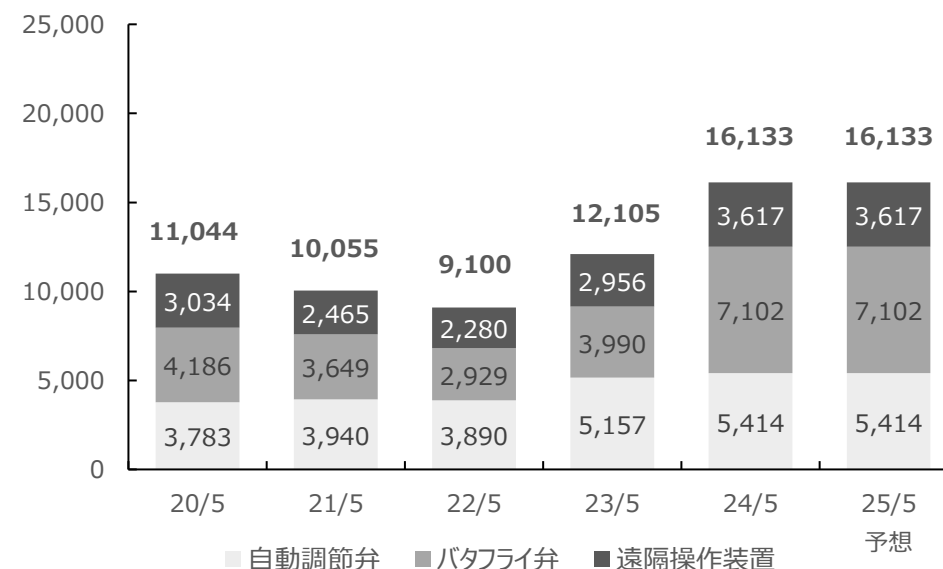
受注高の推移

単位：百万円



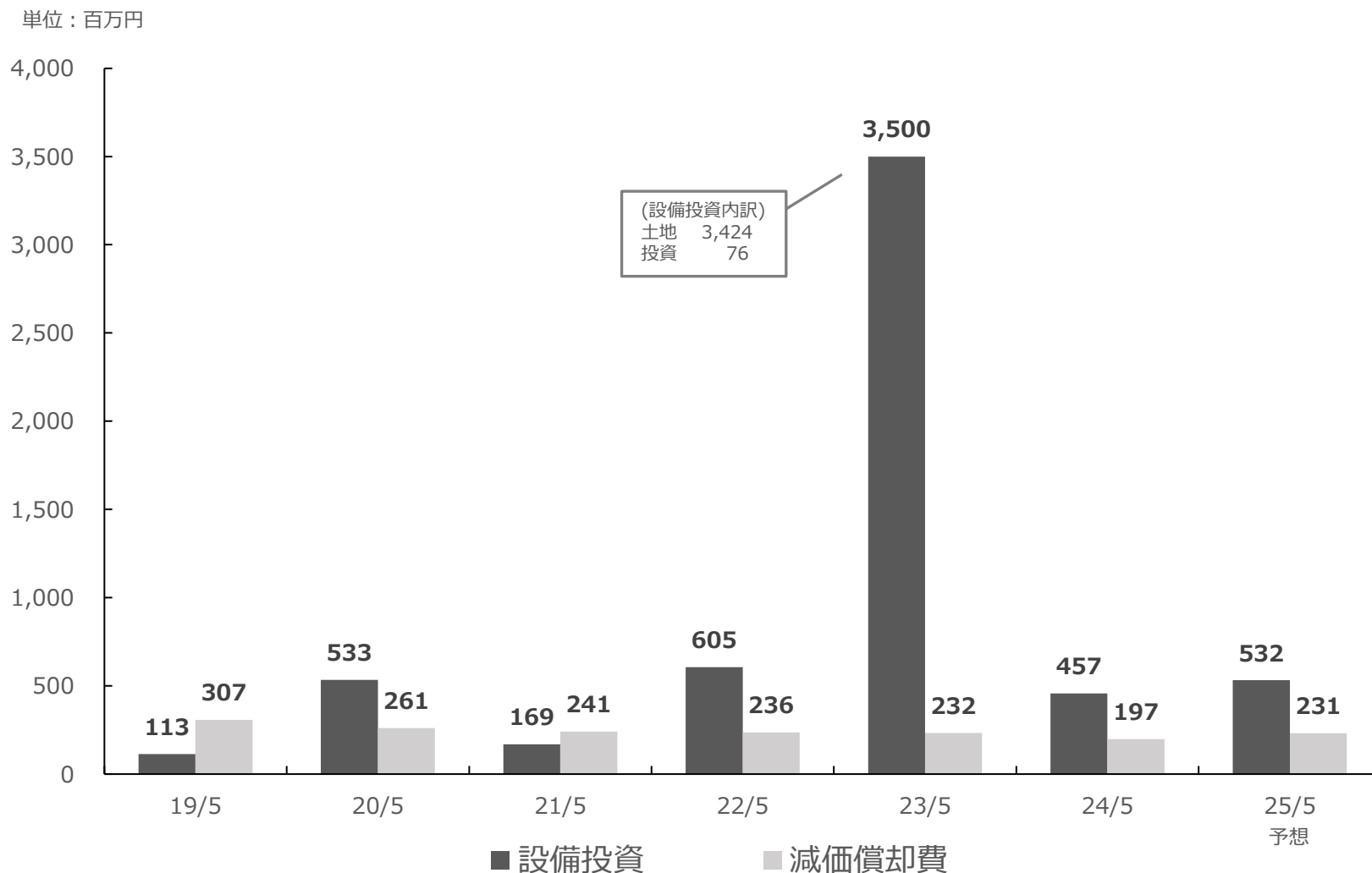
受注残の推移

単位：百万円



### 3. 設備投資と減価償却費の見通し

Moving forward



# IV. 今後の展望



# 1. 液化水素用大口徑バタフライバルブの受注

Moving forward

- 水素社会の実現に向け、水素サプライチェーンにおける海上輸送や大規模貯蔵・利用に不可欠な「液化水素用大口徑バタフライバルブ」をNEDO事業を通じて開発し、2024年5月期に受注（サイズ：800A, 32インチ）
- 世界最大級の大きさを誇る当該バルブは、 $-253^{\circ}\text{C}$ の極低温流体でも発揮する高い封止性に加え、真空ジャケットによる高い断熱性と、トップエントリー構造による高効率なメンテナンス性が特徴



LH<sub>2</sub>実液試験用大型試作品



国際海事展「Sea Japan 2024」での展示

当該バルブの封止性・断熱性・メンテナンス性は、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）と共同実施による、能代ロケット実験場におけるLH<sub>2</sub>実液試験で検証済み。



中北製作所は1970年代より、ロケット発射設備向けやLNG船向け等に極低温用バルブを製造。

大口徑のバタフライバルブだけでなく、小口径から中口径のグローブバルブにおいてもラインナップを拡充し、多様な用途に対応可能なバルブを提供することで、脱炭素社会の実現に貢献していく。

## 2. データ活用でバラスト制御を自動化する「バラストIoT」の研究開発

Moving forward

- 船体の姿勢を制御し、船舶の安全運航に欠かせない「バラスト水 制御システム」で中北は国内シェアNo.1
- 流体制御技術とIoT技術を組み合わせ、データ活用による現場知見の蓄積で、バラスト制御の完全自動化を目指した研究開発を実施中

### Lv.1 Utilization of Data



- 乗組員の豊富な知識を裏付けするバラストの状態性をデータで可視化
- 特定の乗組員に依存しない効率的な本船運用の検討が可能

### Lv.2 Almost One Click



- 安全 or 省エネモードなどを選択
- 経験と知識が豊富でなくても、効率的な業務遂行が可能

### Lv.3 Full Automatic



- 人を代替する自動制御
- ただし、自動化導入時の安全対策と、導入可能な世の中のルール整備要



国際海事展「Sea Japan 2024」でのデモ展示

ワンクリックでバラスト制御による安全性と省エネ（燃費向上）のバランスをとる喫水の最適化について、国際海事展「Sea Japan 2024」でデモを実施

乗組員



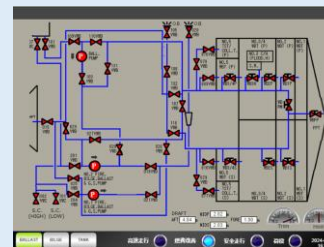
モード

安全モード

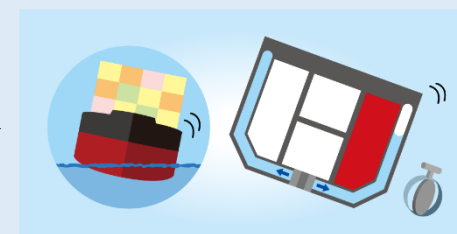
バランスモード

省エネモード

コントローラ



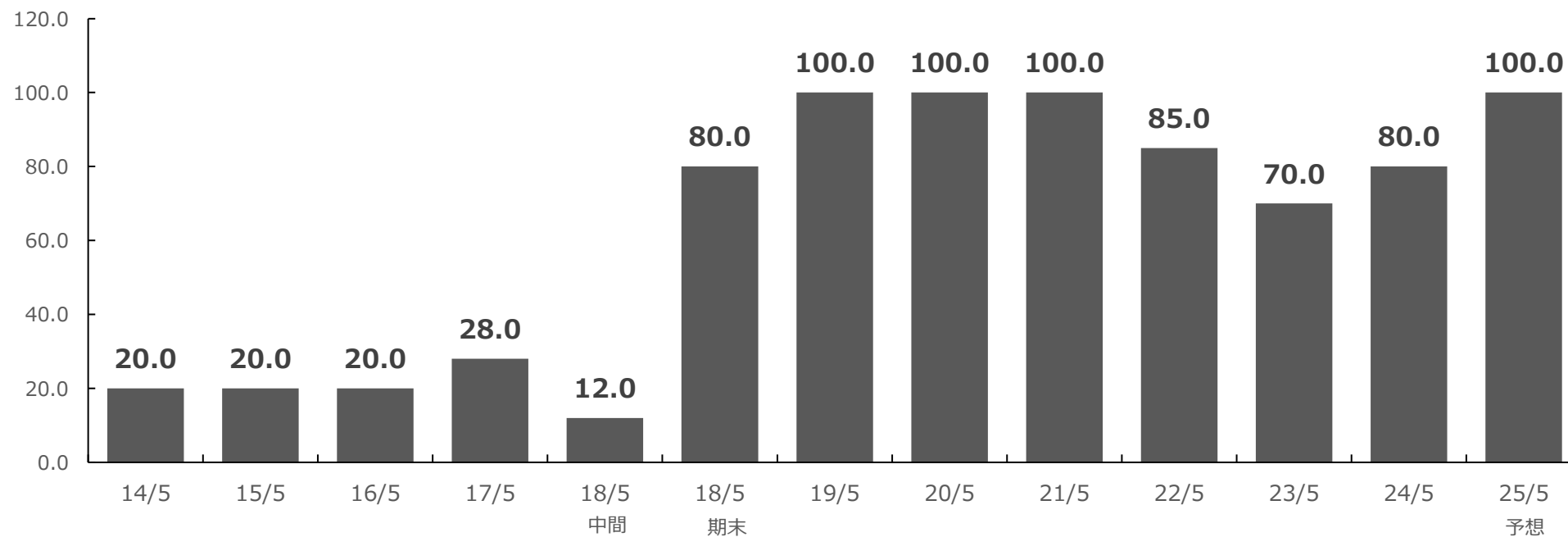
バルブ・タンク



### 3. 配当実績・予想

Moving forward

単位：円

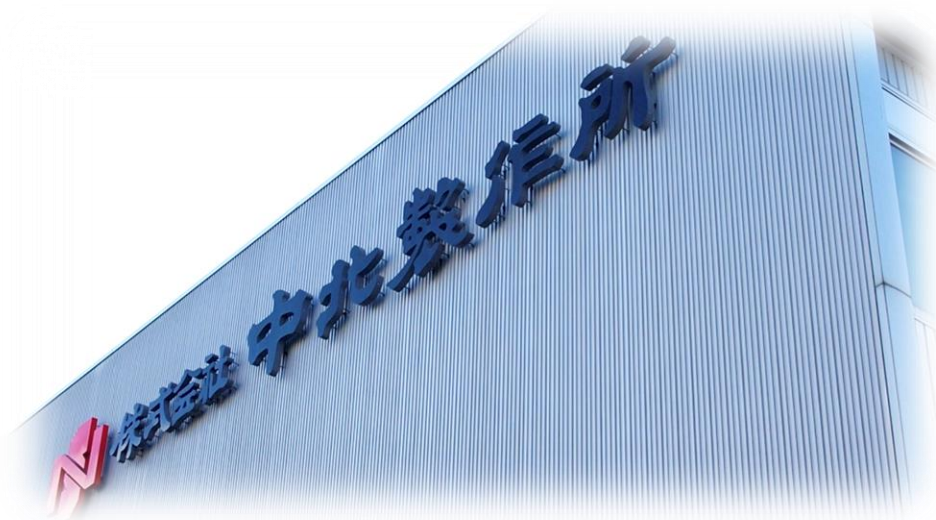


※ 当社は、2017年12月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。  
18/5期末以後の1株当たり配当金につきましては、当該株式併合後の金額を記載しております。

## 4. 今後の取組み

Moving forward

1. M&A、協業を含む攻めの投資促進と海外展開の強化
2. 顧客関係管理による提案型営業活動、国内外アフターサービス体制の強化
3. 脱炭素に寄与する製品開発と販売促進、データを活用したコト売り事業の創出
4. DX、マスカスタマイゼーション生産体制の構築による生産性向上
5. 多様な人材の確保および育成、技能伝承





# V. コーポレート・データ



単位：百万円、%、円

	20/5	21/5	22/5	23/5	24/5	25/5予想
売上高	18,639	17,558	17,157	15,777	18,608	21,000
営業利益	1,012	788	537	816	1,203	1,300
営業利益率	5.4	4.5	3.1	5.2	6.5	6.2
経常利益	1,178	982	808	1,109	1,473	1,600
経常利益率	6.3	5.6	4.7	7.0	7.9	7.6
当期純利益	741	673	556	806	1,020	1,780
当期純利益率	4.0	3.8	3.2	5.1	5.5	8.5
総資産	27,745	27,210	27,846	29,040	31,739	
株主資本	21,401	21,573	21,773	22,329	22,985	
株主資本比率	77.1	79.3	78.2	76.9	72.4	
株主資本利益率	3.5	3.1	2.6	3.6	4.4	
1株当たり当期純利益	204.49	188.21	155.84	225.81	288.54	504.11
1株当たり配当金	100.00	100.00	85.00	70.00	80.00	100.00

単位：百万円

陸船別売上	20/5	21/5	22/5	23/5	24/5	25/5予想
陸用売上	5,977	5,435	6,703	5,713	6,804	7,700
船用売上	12,662	12,122	10,454	10,064	11,804	13,300
合計	18,639	17,558	17,157	15,777	18,608	21,000

品種別売上	20/5	21/5	22/5	23/5	24/5	25/5予想
自動調節弁	8,983	8,001	7,605	6,719	7,920	9,000
バタフライ弁	4,996	4,985	5,507	4,973	5,873	6,600
遠隔操作装置	4,659	4,571	4,044	4,084	4,814	5,400
合計	18,639	17,558	17,157	15,777	18,608	21,000

生産	20/5	21/5	22/5	23/5	24/5	25/5予想
自動調節弁	8,792	7,929	7,627	6,691	7,983	9,000
バタフライ弁	4,890	4,940	5,247	4,903	5,801	6,600
遠隔操作装置	4,561	4,529	4,026	4,045	4,751	5,400
合計	18,244	17,399	16,901	15,640	18,536	21,000

受注	20/5	21/5	22/5	23/5	24/5	25/5予想
自動調節弁	8,625	8,158	7,555	7,986	8,177	9,000
バタフライ弁	5,503	4,448	4,787	6,034	8,985	6,600
遠隔操作装置	5,080	4,002	3,859	4,760	5,475	5,400
合計	19,209	16,609	16,202	18,781	22,637	21,000

受注残	20/5	21/5	22/5	23/5	24/5	25/5予想
自動調節弁	3,783	3,940	3,890	5,157	5,414	5,414
バタフライ弁	4,186	3,649	2,929	3,990	7,102	7,102
遠隔操作装置	3,034	2,465	2,280	2,956	3,617	3,617
合計	11,004	10,055	9,100	12,105	16,133	16,133

本資料は、ご参考のために株式会社中北製作所が独自に作成したものです。

本資料に関する事項について貴社が意思決定を行う場合、内容によっては事前に貴社の弁護士、会計士、税理士等にご確認いただきますようお願い申し上げます。

本資料中に、新聞その他の情報メディアによる報道、民間調査機関等による各種刊行物、インターネットホームページ、有価証券報告書及びプレスリリース等の情報が含まれている場合がありますが、株式会社中北製作所はそれらの情報を、独自の検証を行うことなく、そのまま利用しており、その正確性及び完全性に関して責任を負うものではありません。

また、本資料のいかなる部分も一切の権利は株式会社中北製作所に属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願い致します。

